

平成 20 年度第 4 回清水町行政改革推進委員会記録（第 28 回）
（要点筆記）

日 時 平成 20 年 12 月 18 日（木）午前 10 時から
場 所 清水町役場 4 階 第 1 会議室
出席者 委員長外 6 人
事務局（企画財政課）駿藤、野田、木村

委員長あいさつ

沼津市では栗原新市長が就任されたことにより、第 8 期行政改革推進委員会がスタートした。委員からはコスト削減だけでなく、未来へ向けて新しいものを提案していくことも使命ではないかというような話もあった。清水町でも同様に、行政改革を推進していかなくてはいけない。

第 3 回の会議録の確認
訂正なし

配布資料確認

議題

1. 提言について

（各委員より自身の提言の趣旨説明）

「補助金・助成金の見直し」

- ・ 現在必要でない補助金や類似した補助金など、あるのではないかと？
- ・ その見直しを行うことにより、新たな必要としている団体に補助していったらどうか？
- ・ 富士市は全部の補助金を見直し、藤枝市でも行っている。

「民間活動団体のネットワーク化」

- ・ 新総合計画の策定にあたり、民間活動団体との協働が不可欠になっている現在、NPO や様々な団体を行政がサポートしながらネットワーク化し、把握することにより、よりよいまちづくりに繋がるのではないかと。

「レジ袋の有料化について」

- ・ 環境問題を考えると必要なものではないかと。

質問・意見

- ・ 具体的に補助金や助成金はどのような団体に出ているのか？

社会教育関係、社会福祉協議会、商工会、湧水まつりなど様々な団体に出ています。

平成 18 年度に 9 千万円あった補助金を一律 10%カットの削減を行い、その後は、実施計画・予算ヒアリングにて随時見直しを行っております。平成 20 年度は 100 万円余の削減をしました。

平成 21 年度中に検討部会を立ち上げ、見直しを行い、22 年度予算に反映した

い。

- ・ 沼津路線の補助金はどのような顛末になったのかなど、議論されていない気がするのですが、見直しと同時に追跡調査を行うべき。
- ・ 新たな補助金を渡すようなことはしていないのか？
しておりません。

- ・ 地区公民館の建設にかかる補助は必要ではないか？

町長の方針である町民の安心安全を確保するためのものであるもので、その部分は現状維持になると思います。また、耐震補強についての補助も率を上げる予定であります。

「30人学級制導入について」

- ・ こどもに対する施策を重要視するのであれば、現在の南小の人数は1クラス40人になっていることを改善するべきでは？

議会でも議論された話題であります。当局の答弁によると現状維持の方針になっています。

- ・ 県教委の人件費は県費であるので、町単独で雇用することができれば可能ということか？

そうです。

清水町は支援員を近隣市町よりも増員している。

施設と費用の面が問題になるということです。

「小中学校の選択制について」

- ・ 先ほどの問題を解決するために、南小の生徒を清水小に移すことで、解決できるのでは？
- ・ 学校の行事等も制限されている。
- ・ 友達が多くできるメリットがある。
- ・ 平準化を図るべきではないか。
- ・ 他市町よりも学力調査でレベルが低いのが現状だが。
- ・ 伊豆市などでは、生徒が少なく廃校を検討しなくてはいけないところもある。
- ・ 教育委員会は検討すべき。昔からやっているからという理論は通用しない。
- ・ 沼津では成果が出ているよう

選択制については通学距離の問題で議会でも出ている。

選択制を見直ししているところもあり、地域性を考慮する必要があり、一概に選択制がよいことにはならない。

- ・ 今後、検討するために提言に対する資料を用意するように。

「防犯灯の設置について」

- ・ 暗いと感じる所がいくつかあるが、防犯灯の設置については、どうなっているのか？

防犯灯は区の要望を受け、町が補助を出しているもので、組長や区長にお伝えしていただきたいと思います。

- ・ 区のことであるので、地元区長に要望することによって設置できると思う。
- ・ 安全のことについてであるので、簡単にやってもらえるはず。

「保育所の待機児童数とこれからの保育所のあり方について」

- ・ 4月の待機児童は少なかったが、現在はどのくらいか？

毎月も申込みがあるので、月によって違いますが、現在は 60 人です。しかし、以前は 100 人程度の待機があり、しいの木保育園を開園したという経緯があります。

現在、認定こども園の設置について検討しております。

- ・ 将来人口推計を作成し、今後の施策に反映していただきたい。

「町民体育大会について」

- ・ 町民体育大会は役員の負担が多いのでは。
- ・ 駐車場の問題があり応援者が少ないので、清水中学校で開催したらどうか？
- ・ 伊豆市では、合併に伴い、なくなっている。

毎年、反省会議を開催しており、同じような意見は出ています。アンケートをとったところ、賛成派と反対派の意見が拮抗しているので、判断が難しいのが現状です。

・ 長泉は開催しており、駐車場の問題も出ていないので、参考になるはずであるので、資料を請求し、検証するように。

「敬老会事業について」

- ・ 2,000 万円余の祝い金が出ており、イベントも行っているが、今後の年齢推移を考え、策を講じる必要があるのでは？
- ・ イベントは 2 回、同じことをやる必要があるのか？
- ・ 人数が多いのであれば、地区の公民館に集め、それぞれお祝い会をするなど考えたらどうか？
- ・ 70 歳の基準はいつからか？現在の 70 歳は、それほど老後と感じが、タイミングが難しいが、検討しなければならない事項であると思います。
- ・ 将来推計を作成すること。それを基に検討する必要がある。

「広報しみずについて」

- ・ どのくらいの費用が、かかっているのか？
年間 617 万円。一部あたり 20 円程度です。
- ・ いいシステムであるが、2 回発行する必要があるのか。
1 日号はお知らせ。15 日号は行政の施策特集等です。
- ・ 広報への広告掲載をしたらどうか。
- ・ ホームページで読む人もいるのでは。

発行を 1 回にすると情報を 40 日前に出す必要があり、結果をお知らせすることも 50 日後になってしまう。

- ・ 広報以外のものも挿入されている。

「各委員会設置の見直し」

- ・ 他の委員会に所属したことがあるが、報告することもなく集まっている場合があるし、他の委員からも同様の意見を聞いた。
- ・ 研修等で勉強をするが、町民に反映しているか疑問である。
- ・ このような委員会に報酬をだすのはいかがか。
- ・ 成果がない委員会は必要がない。
- ・ 定員も改善すべき。
- ・ 年 1・2 回の委員会で何ができるのか。
- ・ 6 年間在籍したが、委員会を開催しても、問題を解決するような議論もなく、

結論もでない。

- ・ 単なる充て職にしているだけある。

「公共施設の借地について」・「普通財産の売却について」
(前回の委員会で提言したことであるので趣旨説明は省略)

- ・ 土地開発基金で購入した当時は 4 億 3 千万円位だったが、現在の価値は 1 億円程度下がって、3 億 3 千万円位である。

2 . 平成 20 年度行政改革大綱実施計画進捗状況について

(事務局)

次回の委員会にて、第 2 三半期の進捗状況をお伝えします。

次回開催スケジュール

1 月中下旬を予定する。